

- ① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。  
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

## 新刊委託

部数

法政大学出版局 2023年8月25日配本 定価8800円(本体8000円+税)

A5判上製・752頁

岡孝著

## 梅謙次郎 日本民法の父

ISBN978-4-588-63515-1 C1032

空前絶後の立法家、先天的な法律家と称された明治期の法学者・梅謙次郎。生家の零落と莫大な借金の返済を乗り越え苦学の末に法律を修めた梅は、日本が近代国家に生まれ変わる激動の時代に日本民法典編纂という世紀の大事業を成し遂げた。類い希なる学識で政府の要職を歴任し、帝国大学で後進の育成に努め、法政大学初代総理として学校経営にもその手腕を発揮した転換期の傑物の生涯を辿る決定的評伝。

【法律・評伝】

☆関連書: 李英美『韓国司法制度と梅謙次郎』、法政大学大学史資料委員会編『法律学の夜明けと法政大学』など。

## 新刊委託

部数

法政大学出版局 2023年9月8日配本 定価5500円(本体5000円+税)

四六判上製・734頁

室井光広著

## エセ物語

ISBN978-4-588-46023-4 C0095

てんでんこな言葉遊び、饒舌きわまる文字もじり、けれど真剣この上なく、無限の繰り言が日本語の原郷を、東アジアの無意識をあぶり出す。ジョイスと柳田、モンテーニュと易经が哀野のユートピアに出会い、死者の言葉を結んでは開き、継いででは重ね、天地のコトワリをめぐらせる。日本語の幽霊的宿命がエコーする室井文学の未完の遺作、易占トリックで最高に文学的な寓話、空前絶後のな試み(エッセイ)の物語。

【文学】

☆関連書: 今月から8月にかけて、CAMPFIREにてクラウドファンディングを行います。話題の書!(中公文庫『おどるでく』とともに)

## 新刊委託

部数

法政大学出版局 2023年9月25日配本 定価3520円(本体3200円+税)

四六判上製・246頁

クレール・マラン 著/鈴木智之 訳

《叢書・ユニベルシタス 1159》

## 断絶

ISBN978-4-588-01159-7 C1310

★ 誕生と死別、新しい恋と別れ……、「断絶」が人を動揺させ脆弱にするとき、むしろそれは人生に節目を与え、自身を深く問い直させると、ポジティブな人もいる。対して著者は、経験が自己を高めてくれるという期待を抱くのはやめた方がよいと断言する。では、私たちはいかにして自分を取り戻すのか。原書はフランスで多くのメディアが取り上げ、哲学書としては異例の売れ行きを記録しました。日本でも『クーリエ・ジャポン』が『ル・モンド』の著者インタビューをいち早く紹介しています。【哲学・ケア】

☆関連書: R・バルト『恋愛のディスクール・断章』(みすず書房)、C・マラン『病い、内なる破局』、C・マラブー『偶発事存在論』(小局刊)。

部数

客注品や補充ご注文がございましたら、この短冊にご記入下さい。

ご担当者様 氏名: [ ] 担当ジャンル: [ ] TEL: [ ]

\* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。

\* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。